

# 地方都市視察報告書

総務区民委員会

1 実施日 平成29年11月6日(月)

2 視察地 大阪府堺市

## 【市の概要】

(1) 面積 149.82km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数

(平成29年10月1日現在)

○人口 834,267人

○世帯数 354,720世帯

(3) 堺市周辺に人が定住し始めたのは旧

石器時代のころ。市内の遺跡からは、約1万年前の打製石器や、縄文時代の土器・石器、弥生時代の銅鐸・土器などが発掘されている。4から5世紀には大和朝廷が成立したが、堺には仁徳天皇陵古墳をはじめ、100数基から成る百舌鳥古墳群が造られた。

平安時代、この地が摂津・河内・和泉の3国の境に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになった。

鎌倉時代には漁港として発達し、その後西日本の海運の拠点として発展。そして戦国時代、堺は貿易港として黄金の時代を迎える。この時代、堺は、対明貿易や南蛮貿易など海外との交流拠点として発展、当時の堺は世界でも珍しい環濠都市を形成し、自治都市として繁栄した。

明治以後、近代工業の発展、人口の増大、市域の拡大、交通の発達など、急速に近代化が進み、今日も力強い発展を続けている。



3 視察項目・内容

個人情報管理厳格化のためのパソコンへの顔認証について

4 視察参加者

## 【委員】

佐藤 佳一委員長 志田 雄一郎副委員長 木もと ひろゆき委員

川村 のりあき委員 野もと あきとし委員 池田 だいすけ委員

下村 治生委員 佐原 たけし委員 えのき 秀隆委員

かわの 達男委員

## 【随員】

議事係 濱野 智子 唐澤 一彰

## 5 視察結果・所感

堺市では、平成27年に68万人分の全有権者の個人情報流出する事件が起きてしまった。

市としてその事件を検証し、徹底したセキュリティ対策を講じ、その対策の一つが顔認証システムの導入だった。全職員対象の研修を新たに始め、適時のログインパスワードの変更やパソコン起動時に「〇〇を遵守しますか」というメッセージがランダムに出て「はい」をクリックしないと次の画面に進まないなどの対策や自席を離れると再度顔認証システムを通らなければならないなど徹底した対策を行っていた。また、市内LANとインターネットを分離したことやUSBメモリでのデータの持ち出しについても所属長の許可がないとできないことについても説明を受けた。当区における個人情報厳格化をさらに推進するため参考としていきたい。

## 6 主な質疑項目

- (1) 顔認証システムの導入による個人情報を扱う職員の意識の変化について
- (2) 情報セキュリティに関する職員の自己点検と監査について
- (3) パソコン顔認証の導入コストについて
- (4) 顔認証システムを導入してからの検証について
- (5) 全有権者の個人情報流出問題についての市の対応について
- (6) データ持ち出し制限の強化の取り組みについて
- (7) 職員に対するパソコン等の使用方法や情報管理に関する教育の工夫点について
- (8) 顔認証システムの導入に伴う職員自身のプライバシーの問題について
- (9) システム導入時における財源と国庫補助について

## 7 その他

### 【共同視察者】

情報システム課長 熊澤 武

税務課長 石塚 俊一

